

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成26年10月15日(水) 5校時

対象学級 1年A組(男子11名、女子13名、計24名)

場 所 1年A組教室

指導者 教諭 工藤 ゆり

- 1 単元名 つながりを読む(図表と事実のつながりを明らかにして説明しよう)
シカの「落ち穂拾い」～フィールドノートの記録から 光村図書

2 単元について

(1) 教材観

教材文「シカの落ち穂拾い」はシカの行動についての観察を中心とした研究経過の記録文(レポート)である。筆者による小見出し「観察のきっかけ」「観察からわかったこと」「仮説」「仮説の検証」「考察」がつけられており、文章構成や「事実」と「意見」の区別、文章のキーワードをとらえ、要約することを学ぶのに適切な教材と言える。また、筆者が研究過程を説明したり、仮説と検証を述べたりする上で、読者の理解を助けるように効果的に図表が使われている。したがって、図表の役割を捉え、文章と図表の関連・対応をつかむ学習ができ、図表を提示した筆者の意図やその効果について考え、話し合うのにふさわしい教材である。

(2) 生徒観

国語の定期テストでは、9割以上の高得点をとれないため、「国語は難しい」ととらえている生徒が多い。特に読解力を要する教材での苦手意識が強い。

1学期の説明文「ダイコンは大きな根？」の学習では、段落の役割や段落どうしの関係、中心と付加部分の違いに着目して要約文を作る学習経験をしている。続く「ちょっと立ち止まって」でも、段落のまとまりに着目して要旨をとらえ、ものの見方や考え方をひろげる学習経験をしている。筆者の考えの進め方にそって考えを追い、要旨をまとめることはできるが、それを自分の生活経験に照らして置き換えることや、自分の理解している言葉で説明することは苦手である。授業の中で辞書を引いたり、書こうとする文章に使える、あるいは使ってほしい語彙を紹介したりしている。

(3) 指導観

本単元で特に身につけさせたい「読むこと」に関する力は「説明されている事実と図表の関係を整理し、文章の要旨を捉える(C-I)」「説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について自分の考えをもっている(C-E)」ことである。単元を貫く言語活動は、「文章と図表の関連を考えながら、わかりやすい説明を考える」と設定し、本単元ではどのような力を身につければよいかを考えさせたい。

そのために、読み手の興味や関心を引きつけるように工夫された図表が多く用いられた教材文ではあるが、あえて一次では図表を削除して提示し、そこに必要な図表をイメージさせたい。図表があることのよさに気づかせ、単元を通して行う言語活動に見通しをもたせるのである。

二次では図表と文章のつながりに着目し、筆者が図表を用いた意図、図表の効果や役割について自分の考えを持たせたい。

三次では同様の教材文を扱う小学校五年生の児童を対象に、本教材で読みとったことを自分の言葉

で分かりやすく説明するという言語活動を通して、読みとりが深まり、学習が定着したことを実感させたい。

3 研究テーマとの関連

「主体的に学習に取り組む生徒の育成—学びあいを取り入れた授業改善の工夫—」

4人グループでの学習は、音読をしたり発問に対して話し合わせたりするとき、以前から行ってきたものである。3～4人の小グループでの活動は一人ひとりが主体的に取り組まざるを得ない状況を作ることができる。わからないことをすぐに聞ける、自分が理解したことを友達に説明することで理解を深める、というわかる生徒もわからない生徒も学習に参加できる本研究テーマの「学びあい」は、主体的に取り組む生徒を育成するために効果的である。本単元でも、「事実」と「意見」とを読み分けたり、難しい語句を分かりやすく言い換えたりする場面で「学びあい」のグループ学習を行いたいと考える。

4 単元の目標

記録の文章と図表の関係を整理しながら、図表が果たしている役割や効果について自分の考えをもつことができる。

5 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

文章と図表との関連を捉えながら、説明の文章を読もうとしている。

【読む能力】

説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨を捉えている。(C-イ)

説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割を捉え、その効果について自分の考えをもっている。(C-エ)

【言語についての知識・理解・技能】

文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(言イ(イ))

説明の文章を読んで自分の考えを書いたり述べたりする際に、より適切な語句を選んでいる。(言イ(ウ))

6 指導計画と評価規準

次	時	指導計画	評価規準
1次	第1時	図表を除いた全文を読み、必要な図表をイメージする。単元を貫く言語活動を確認し、学習の見通しをもつ。	単元の見通しをもって説明文を読もうとする(関心・意欲・態度)
2次	第2時	小見出しごとに事実と意見を読み分け、要点を捉える。	小見出しごとに事実と意見を読み分けて整理することができる(C-イ)
	第3時	それぞれの図表にかかわる文章を見つけ、図表の役割と効果や、筆者の意図を考える。	筆者が図表を使った意図やその効果について自分の考えをもっている(C-エ)
3次	第4時	写真や図表を説明する言葉を検討する。(本時)	図表を説明するのに必要な語句を捉え、易しい言葉で説明できる(C-イ)
	第5時	図表を説明する発表会(録画)を開き、相互評価をする。	図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもっている(C-エ)

7 本時の指導

(1) 本時の目標

小学校5年生の児童に向けて、文章と図表を関連させたわかりやすい説明を考えることができる。

(2) 展開案

	学習活動	指導の留意点◇評価	言語活動	学習形態
導入 5分	1 図表の役割と筆者の意図について考えたことを確認する	・前時にまとめたことを発表させる。		一斉
展開 40分	図表を用いたわかりやすい説明を考えよう			
	2 本時の流れを確認する 3 教材文の写真や図表を確認し、説明の語句の抽出方法を理解する。	・教師のモデル（地図）を提示して、文章との違いに気づかせる。 ・第1～2段落を音読させ、長さを意識させる。 ・モデルの説明を聞かせ、教材文との違いを考えさせる。	音読	一斉
	4 教材文の写真や図表を説明する語句を抽出する	・音読し、説明に必要な語句を抽出させる。	語句抽出	4人
	5 説明の言葉を考える	・文章にはないが、必要だと思われる説明を補うよう助言する。 ・4人でそれぞれが作った説明を読み合い必要に応じて修正させる。 ◇図表を説明するのに必要な語を捉え、易しい言葉で説明できる		4人
	6 4つのグループに分かれて、お互いの説明がよくわかるかどうか確認する	・各自、図表の説明をして、つながりをみさせる。	発表	6人
まとめ 5分	7 本時のまとめ・振り返りと次回の学習について	・本時の学習を振り返り、わかったことをまとめさせる。次回は発表を録画することを予告する。		コの字

